

岩波其殘 いわたま 俳人。文化十一年五月十一日信濃國諏訪郡又出村生
れ、明治二十七年四月五日歿（二八五―九四）。舊姓山田、通稱鐵（二）藏。
別號再庵、天管、尙胤、蓼州、雪散屋、鸞友等。母の生家を嗣ぐ。俳
諧を大に保身若人の學ぶ。四條派の繪畫、俳畫を頗る精行し、私淑し、中
大樂燒、篆刻をも能くした。嘉永頃諸國を巡遊、維新後神藏にも就い
た。

山田國公著『岩波其殘』（昭和五十七年八月五日甲陽書房「甲陽選
書」）が中心。